

【Z世代×SDGs×就職活動】Z世代が働き方に求めるのは 「自分らしさ」。その中身は、型がある上での個性発揮 ／ワークライフバランス／他人の平等を守る意識

【Z世代】SDGs シューカツ解体白書プロジェクト（協力：法政大学 SDGs+プロジェクト）

SDGsの企業向けeラーニング「SDGs ビジネスラーニング」を手掛けるSoZo株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：あつみゆりか）は、Z世代のSDGs そのものに対する意識と就職活動における企業選びとの関係性を明らかにする調査プロジェクト「【Z世代】SDGs シューカツ解体白書」をWEBアンケートにて実施。601名の学生が回答を寄せました（内52.8%が法政大学・大学院生、残り47.2%が他大学の学生）。

601名の学生が回答。「働く場所に重視するポイント」は？

■60%以上の学生が「ワークライフバランス」、次いで「サービスや商品の将来性」で50%越え

「働く場所に重視するポイント」について聞いてみたところ、最も多く回答されたのが「ワークライフバランス」で63.2%と半数以上が重視する結果となりました。また次点は「サービスや商品の将来性」54.6%、3位は「サービスや商品が好きか」45.1%という結果に。学生が企業を給与や知名度以外にも多角的に評価し、判断していることが伺えます。



Q.あなたが働く場所に重視するポイントを教えてください（複数回答可）

順位	重視するポイント	投票数	割合*
1位	ワークライフバランス	380	63.2%
2位	サービスや商品の将来性	328	54.6%
3位	サービスや商品が好きか	271	45.1%
4位	女性の育休取得率	191	31.8%
5位	労働環境が良い企業と取引しているか	183	30.4%
6位	募集職種	174	29.0%
7位	社員の勤続年数	174	29.0%
8位	若手社員がどれくらい活躍しているか	172	28.6%
9位	サービスや商品の環境などへの配慮	140	23.3%
10位	OJTなど教育制度の充実	126	21.0%
11位	男性の育休取得率	125	20.8%
12位	社員の男女比	122	20.3%
13位	LGBTQなどへの配慮	95	15.8%
14位	管理職の男女比	84	14.0%
15位	寄付や社会貢献の有無	70	11.6%
16位	外国人の就労割合	66	11.0%
17位	クリーンエネルギーへの対策	58	9.7%
18位	障害者雇用がなされているか	26	4.3%

*母数を 601 としたときの割合



■ 働き方のイメージの 1 位は「自分らしく働ける環境」、2 位が「ライフステージによって仕事量を調整したい」

さらに具体的な内容をランダムに答えてもらう形式の問い「働き方のイメージに近いもの」についての問いには「自分らしく働ける環境」が 1 位に。多くの調査でも Z 世代のキーワードとして出てくる「自分らしさ」を半数以上の学生が挙げました。そしてほぼ僅差で「ライフステージによって仕事量を調整したい」が選ばれました。これもワークライフバランスを重視する Z 世代ならではの価値観です。また 3 割を超える選択肢には統一性はなく、多様な価値観が伺える結果となっています。

Q. あなたの働き方のイメージに近いものを選択してください。（複数回答可）

順位	働き方のイメージ	割合*
1位	自分らしく働ける環境を選びたい	53.7%
2位	結婚、出産、育児などライフステージによって仕事量を調節したい	53.1%
3位	給与がなるべく高い企業で働きたい	44.1%
4位	社会的に意義のあるサービスに携わりたい	39.9%
5位	残業が少ない方がよい	35.8%
6位	なるべく人と接する環境で働きたい	34.3%
7位	バリバリと第一線で働きたい	32.1%
8位	フラットなコミュニケーションが取れる環境で働きたい（年功序列ではない）	31.8%
9位	優秀な人に囲まれて仕事がしたい	28.1%
10位	圧倒的に成長できる環境で働きたい	24.6%
11位	副業など社外でも稼げる場所を開拓したい	21.5%
12位	成果が給与に反映される企業で働きたい	19.3%
13位	お金や地位よりやりがい大切	18.1%
14位	なるべく出世していきたい	17.3%
15位	リモートワーク中心が希望。働く場所に縛られたくない	17.1%
16位	仕事は楽な方がよい	13.3%
17位	成長産業と言われる分野で働きたい	12.8%
18位	出世欲はない	11.8%
19位	年齢によって自動的に給与が上がる企業で働きたい	7.5%
20位	とにかくたくさん仕事をしたい（残業はいとわない）	5.2%

*母数を 601 としたときの割合

■「自分らしく」を選択した学生は「ワークライフバランス育休」「自身の活躍の機会」関連の項目で数値が上昇

Z世代の「自分らしく」とは、具体的にどんな価値観なのか？を深掘りするために「働く場所に重視するポイント」とのクロス集計を実施しました。結果、「ワークライフバランス」で7.1%の数値UP。70%以上の学生がワークライフバランスを重視する結果に。続いて上昇率が高かったものは「女性の育休取得率」で、6.9%の数値UP。また30%超えの項目が増え、特に自身の活躍に関連する項目が目立ちました。

Q.【クロス集計】働く場所に重視するポイント×働き方のイメージの問いで「自分らしく働きたい」と回答した人の差分

あなたが働く場所に重視するポイントを教えてください	投票数	割合*	自分らしく働きたいと回答した人	割合**	【差分】
ワークライフバランス	380	63.2%	227	70.3%	7.1%
サービスや商品の将来性	328	54.6%	186	57.6%	3.0%
サービスや商品が好きか	271	45.1%	152	47.1%	2.0%
女性の育休取得率	191	31.8%	125	38.7%	6.9%
労働環境が良い企業と取引しているか	183	30.4%	107	33.1%	2.7%
募集職種	174	29.0%	107	33.1%	4.1%
社員の勤続年数	174	29.0%	97	30.0%	1.0%
若手社員がどれくらい活躍しているか	172	28.6%	97	30.0%	1.4%
サービスや商品の環境などへの配慮	140	23.3%	88	27.2%	3.9%
OJTなど教育制度の充実	126	21.0%	89	27.6%	6.6%
男性の育休取得率	125	20.8%	82	25.4%	4.6%
社員の男女比	122	20.3%	71	22.0%	1.7%
LGBTQなどへの配慮	95	15.8%	63	19.5%	3.7%
管理職の男女比	84	14.0%	54	16.7%	2.7%
寄付や社会貢献の有無	70	11.6%	41	12.7%	1.1%
外国人の就労割合	66	11.0%	35	10.8%	-0.2%
クリーンエネルギーへの対策	58	9.7%	36	11.1%	1.4%
障害者雇用がなされているか	26	4.3%	17	5.3%	1.0%

*母数を601としたときの割合 / **母数を「自分らしく働きたい」と回答した323としたときの割合

■「自分らしく」を選択した学生と働く環境のSDGs 目標の相関性はあらゆる項目で高くなる

さきほどの働くときに重視するポイントと「自分らしく働く」の掛け合わせよりも数値の上昇に顕著な相関性が現れたのが 福利厚生や環境整備に関する目標です。目標 4 の社員教育に関する項目には 11.7 %の上昇が見られ、74.3 %のもの学生が選択しています。また 平等な機会を示す「目標 5」「目標 10」に関しても 10 %前後の上昇が見られました。また働く場所への自由を示す「目標 9」に関しては 12 %もの上昇、メンタルヘルスや健康診断に関する「目標 3」でも 50 %を超える学生が重視する結果となっています。

Q.【クロス集計】働くときに福利厚生や環境整備としてポジティブに受け取る目標 ×
働き方のイメージで「自分らしく働きたい」と回答した人の差分

働くときに福利厚生や環境整備として対策されているとポジティブに受け取る目標があったら教えてください	割合*	自分らしく働きたい	【差異】
社員、アルバイト、契約社員など全員への質の高い研修・教育サポート（目標4）	62.6%	74.3%	11.7%
女性の管理職比率、役員比率（目標5）	50.7%	59.8%	9.1%
リモートワーク登用、交通費全額支給など働く環境に関する自由（目標9）	49.3%	61.3%	12.0%
「予防接種」「健康診断」「メンタルケア」など法令以上に社員の健康への福利厚生（目標3）	48.9%	57.3%	8.4%
LGBTQへの配慮、ユニバーサルデザインの採用（目標10）	43.9%	55.1%	11.2%
「子ども食堂」「ひとり親支援」など働く社員への支援（目標1）	41.3%	46.4%	5.1%
海外支社や取引先なども含めた労働環境の安全性（目標16）	32.4%	41.2%	8.8%
企業のイベント、社員食堂などにおけるフードロス対策（目標12）	30.4%	39.0%	8.6%
業務内でのペーパーレスの促進（目標15）	30.0%	37.8%	7.8%
働く環境としての生産性向上につながるIT、AIなど新しい技術の登用（目標8）	28.6%	36.2%	7.6%
働く環境の再生可能エネルギー化（目標7）	26.5%	32.8%	6.3%
開発が遅れている途上国への支援（目標17）	25.0%	31.3%	6.3%
オフィス内での脱プラスチック対策 ※リサイクル、リユースなど含む（目標14）	24.6%	31.0%	6.4%
オフィスの二酸化炭素（CO2）排出の削減（目標13）	24.1%	29.7%	5.6%
わからない	3.5%	2.5%	-1.0%
どれもポジティブには受け取らない	1.3%	0.6%	-0.7%

*母数を601としたときの割合

【総評】Z世代が求める自分らしさの中身

→型がある上で個性の発揮×ワークライフバランス×不平等の解消

Z世代の価値観を物語るキーワードに「自分らしさを求める」がありますが、この「自分らしさ」の中身は実はあまり解明されていません。今回の調査結果とプロジェクトの学生メンバーたちとのディスカッションから浮き彫りになったのは、「自分らしさ」という価値観は、決して利己的なものではないということ。まず働く環境の目標4に相当する「立場によらない等しい社員教育」については「**なんでも自分らしいフリースタイルを求めているわけではない。**



型がある上で個性を発揮したいと思っている」という意見に多くの学生が同意していました。

一方で「自分らしく働きたい人の数値が伸びている要因は、自分たちのメリットを重視しているあられではないか。例えばリモートワーク、ワークライフバランスや育休など。自分たちが働きやすい環境を求めている傾向が見える」**「それだと、LGBTQ やひとり親支援などで40%を超える人が重視するという割合の説明がつかない」という議論が。その流れで出てきたのは「私たちは、自分たちのメリットについてももちろん主張しているかもしれないけれど、他人の自分らしくいられる環境にも敏感で、守っていきたくて考えているのではないか」という意見。参加メンバーの多くが、賛同していました。「ワークライフバランスを重視しながら自分らしく働きたい。同時に、他人にもそういった環境でいて欲しい。不平等をなくしたい」**——Z世代とSDGs、そして企業選びにおいて、非常に重要な価値観といえそうです。

産学連携プロジェクト「[Z世代]SDGs シューカツ解体白書」

法政大学の現役学生とSoZo株式会社運営のSDGsビジネスニュース「ツツケル」による産学連携プロジェクト。共に仮説を立て、設計したアンケート調査の結果から「Z世代が抱くSDGsへの関心や意識、企業選びの本音」を浮き彫りにし、企業側に向けて「真のSDGs経営に向き合う」一助となることも私たちのゴールのひとつとしています。

調査データはこちら：https://www.tsudukeru.com/download/sdgs_whitepaper

調査期間：2022年10月30日（日）～12月9日（金）

調査方法：WEBアンケート調査

収集方法：WEB/SNS告知／法政大学内での告知／プロジェクト参加学生による拡散

回答者：大学生・大学院生の男女（うち法政大学・大学院：318名 全体の52.9%）

回収サンプル数：601名

【オウンドメディア】SDGs ビジネスニュース「ツツケル」

「SDGs をビジネスに活かすにはどうすべきか？」を自発的に学びたいビジネスパーソンに向けた、先行企業の事例など良質な情報を集めたメディア。SDGs のリテラシーを未来の新ビジネスに繋げるヒントが満載です。

名称： ツツケル SDGs ビジネスニュース

リリース： 2022 年 8 月

URL : <https://www.tsudukeru.com/>



★「ツツケル」について詳しくはこちらのリリースもご参照ください。

<https://www.value-press.com/pressrelease/301508>

【企業向け研修 e ラーニング】SDGs ビジネスラーニング

SDGs をビジネス文脈で定期的に学び続けることができるサブスクリプション型法人研修プログラム。前 WWF ジャパン事務局長 筒井隆司氏（現 日本ハム協会専務理事）監修。Sansan 株式会社、株式会社榮太樓總本舗といった大手や老舗企業が続々導入し、ローンチから 2 カ月で受講者が 1.6 万人を突破。

名称： SDGs ビジネスラーニング

リリース： 2021 年 12 月

URL : <https://www.sozoinc.jp/sdgs/learning>



SoZo 株式会社について

プライダグ業界のマーケティング DX を促進する e ラーニング「SOZO 集客大学」ほか、ビジネスパーソンのリスキリング、学び直しをテーマに edtech 分野のサービスを拡充。

【会社概要】

社名： SoZo 株式会社

代表： 代表取締役社長 あつみゆりか

本社住所： 東京都千代田区九段南 1 - 6 - 5 九段会館テラス 1F

URL : <https://www.sozoinc.jp/>

設立年： 2015 年 12 月 14 日

事業内容： スクール事業企画運営 / e ラーニングの企画運営 / 資格検定の企画運営 / コンサルティング事業

